

永年勤続者表彰式で
5名が受賞

毎年行われている、西胆振心身障がい者職親会主催の永年勤続者表彰式並びに新規就職者をお祝いする会が、3月23日（日）、伊達ローヤルホテルにて開催されました。今回は、15年永年勤続表彰が、洞爺サンパレスに就職したH・Sさん。同10年表彰は、ホッコー建設運輸



永年勤続者表彰を受賞した皆さん

（株）に就職したT・Sさん、D・Hさん、K・Tさん、K・Kさんの計5名が受賞しました。当日は、洞爺サンパレス、ホッコー建設運輸（株）からもお祝いを頂き、本人達も緊張と嬉しさが入り交ざった表情で式に参加していました。

表彰状の授与では、西胆振心身障がい者職親会会長より表彰状と記念品が一人ひとりに手渡されました。

来賓の伊達市副町長様と北海道議会議員の先生の祝辞を頂き祝宴に入りました。T・Sさん、K・Kさん、D・Hさんの家族の方も参加され、他の受賞者の方にも、お祝いの言葉や激励の言葉なども掛けていただきました。アトラクションでは、恒例の聖龍太鼓一門伊達武者太鼓の皆さんの迫力ある演奏もあり、さらに宴を盛り上げてくれました。また、事

業主の方からもねぎらいの言葉や励ましの言葉を頂きました。

H・Sさんは、2000年噴火の時、仕事がなく自宅で待機するつらい日々が続いたこともありましたが、会社の方々に必要とされて、声をかけて頂き、再開することができました。

ホッコー建設運輸（株）の4名は、毎日、危険と隣合わせの仕事ですが、現場の運転手の方々にいつも見守られて安心して仕事ができています。社会と関わり、社会の一員として、充実した日々を送ることができているということが、本人にとって何より大切なのだと改めて思います。

最後に、両事業所の関係者の方々におかれましては、いつも障がい者雇用にご理解を頂き、長きに渡って雇用の継続をして頂いていることに感謝申し上げます。そして、本人達もまだまだがんばりますので、今後ともよろしく願っています。

（支援員 N・M）

どうやこあんばん

して作りまし

5月18日に開催された洞爺湖マラソンで、参加者に配布する『あんぱん』を約6,000個製造しました。地産地消ということで、あすなろで通常使用している道産小麦に洞爺湖産の小麦粉『きたもえ』を加えた生地で『あんぱん』を提供しました。一度に6,000個のパンを製造した経験がなく、約1カ月前から製造計画を立て準備を開始しました。それぞれに担当作業を割り当て、自分の役割に責任を持ち、準備を進めました。

また、焼きあがったパンを入れる箱は、重ねたパンが潰れてしまわないように段ボールを工夫

もつとお美味しいパンを提供したいと思いますので、日々、技術向上と利用者支援を行っていく中で、腕を磨いていきたいと思えます。（支援員 N・S）



洞爺湖マラソンで配布された『どうやこあんばん』